

## 令和4年度 公益財団法人さかた文化財団事業報告

### 事業方針

公益財団法人さかた文化財団は、酒田市から指定を受けた指定管理者として、土門拳記念館及び酒田市美術館の管理及び運営を行い、それを通じ定款で定める目的達成のため、各事業を実施した。

土門拳記念館は写真家土門拳の残した功績と現代における作品の意義・魅力を伝えることを柱に、酒田市美術館は、地域を支える美術館として近代及び現代美術作品を中心とする収集・展示や、市民の創作活動の発表の場を提供した。また、両館協力し、相互の幅を広げた共通事業(2つのまなざし 江成常夫と土門拳ーヒロシマ・ナガサキー展)を行った。

2館ともに、地域の文化活動の拠点としての役割、及び他地域から酒田市を訪れる契機となる施設としての役割を認識し、事業の質を担保しながら入館者増に努めてきた。

定款で定めた事業は、具体的には下記のとおり区分し、実施した。

### 公益事業

土門拳記念館及び酒田市美術館での作品展示を中心に、市民の文化芸術等に関する活動等の支援及び育成、普及啓発、情報発信、交流及び協働の促進、資料収集、保存、調査研究等を実施する事業を行った。

#### I 土門拳記念館公益事業

- 1 土門拳作品展示事業
- 2 写真文化普及啓発事業
- 3 写真作品等保存管理事業
- 4 教育普及事業
- 5 土門拳記念館 PR 及び広域情報提供事業
- 6 調査研究事業
- 7 施設（土門拳記念館）管理運営事業

#### II 酒田市美術館公益事業

- 1 展示事業
- 2 美術品保存管理事業
- 3 教育普及事業
- 4 酒田市美術館 PR 及び広域情報提供事業
- 5 調査研究事業
- 6 施設（酒田市美術館）管理運営事業

### Ⅲ 土門拳記念館・酒田市美術館 交流・協働 促進事業

### Ⅳ 土門拳賞及び酒田市土門拳文化賞関連事業

- 1 「土門拳賞」受賞作品の展示・保存事業
- 2 「酒田市土門拳文化賞」募集選考及び受賞作品の展示・保存事業
- 3 写真文化普及啓発事業

#### 収益事業1 作品貸付事業

所蔵する作品を他美術館等の展覧会及び出版社やテレビ企画会社その他へ貸付提供し、収蔵作品を広く伝える事業を実施した。

#### 収益事業2 資料頒布事業

展覧会に関連する書籍や写真集、物品及びオリジナルグッズ等の販売事業を実施した。

#### 収益事業3 施設提供（貸館）事業

市民の創作活動の発表の場として、酒田市美術館市民ギャラリーを展示用備品と共に貸し出す事業を実施した。

#### 会議等に関する事項

##### 1 評議員会及び理事会について

令和4年度の評議員会及び理事会を下記のとおり開催し、全て原案どおり同意・承認・可決された。

##### (1) 評議員会

###### ① 令和4年度定時評議員会

- ・日 時 令和4年6月19日（日）14:00～
- ・場 所 酒田市総合文化センター412 特別室
- ・案 件

###### 〈専決報告〉

- 1 事務局長の選任について

###### 〈決議事項〉

- 1 評議員の選任について
- 2 理事の選任について
- 3 監事の選任について
- 4 公益財団法人さかた文化財団令和3年度事業報告について
- 5 公益財団法人さかた文化財団令和3年度収入支出決算について

《報告事項》

- 1 クラウドファンディングの結果について
- 2 峯田義郎氏より作品寄贈について
- 3 江成常夫と土門拳～2つのまなざし展～記念フォーラムの開催について
- 4 江成常夫氏の名誉顧問顕彰（称号授与）について

② 令和4年度 第1回臨時評議員会

- ・日 時 令和5年3月19日（日）13:30～
- ・場 所 酒田市美術館市民ギャラリー
- ・案 件

《決議事項》

- 1 評議員の選任について
- 2 理事の選任について

《報告事項》 ※令和5年3月4日開催 理事会決定事項

- 1 令和4年度収入支出補正予算（第1号）について
- 2 令和5年度事業計画について
- 3 令和5年度収入支出予算について
- 4 情報公開審査会委員の選任について

《その他》

- 1 令和4年度アンケート結果について
- 2 スクールプログラムについて

(2) 理事会

① 令和4年度第1回通常理事会

- ・日 時 令和4年6月5日（日）14:00～
- ・場 所 酒田市公益研修センター中研修室
- ・案 件

《専決報告》

- 1 事務局長の選任について

《決議事項》

- 1 公益財団法人さかた文化財団令和3年度事業報告について
- 2 公益財団法人さかた文化財団令和3年度収入支出決算について
- 3 令和4年度定時評議員会の開催について
- 4 江成常夫氏の名誉顧問顕彰（称号授与）について

《報告事項》

- 1 理事長・館長理事及び学芸担当理事の職務執行状況について

- 2 クラウドファンディングの結果について
- 3 峯田義郎氏より作品寄贈について
- 4 江成常夫と土門拳～2つのまなざし展～記念フォーラムの開催について

## ② 令和4年度 第2回通常理事会

- ・日 時 令和5年3月4日(土) 13:30～
- ・場 所 酒田市総合文化センター412 特別室
- ・案 件

### 《決議事項》

- 1 令和4年度収入支出補正予算(第1号)について
- 2 令和5年度事業計画について
- 3 令和5年度収入支出予算について
- 4 情報公開審査会委員の選任について
- 5 令和4年度第1回臨時評議員会の開催について

### 《報告事項》

- 1 土門拳記念館池田館長理事のご逝去について
- 2 理事長・館長理事及び学芸担当理事の職務執行状況について
- 3 財団統合後の検証及び今後の方向性について
- 4 諸規程の改正について

### 《その他》

- 1 アンケート調査結果について
- 2 スクールプログラムについて

## 2 公益財団監査について

### (1) 定例監査

#### ①土門拳記念館

- ・日 時 令和4年5月22日(月) 11:00～
- ・場 所 土門拳記念館
- ・対 象 令和3年6月1日から令和4年3月31日まで

#### ②酒田市美術館

- ・日 時 令和4年5月22日(月) 10:00～
- ・場 所 酒田市美術館
- ・対 象 令和3年6月1日から令和4年3月31日まで

# 令和4年度 公益財団法人さかた文化財団事業報告（詳細）

## 公益事業

### I 土門拳記念館公益事業

#### 《概要》

公益財団法人さかた文化財団は、酒田市から指定を受けた指定管理者として、酒田市土門拳記念館の管理運営を行い、それを通じて、芸術文化の向上に寄与し、市民の生活に喜びを与えることを目的としている。

この目的を達成するための事業は下記のとおりである。

- (1) 土門拳作品展示事業
- (2) 写真文化普及啓発事業
- (3) 写真作品等保存管理事業
- (4) 教育普及事業
- (5) 土門拳記念館 PR 及び広域情報提供事業
- (6) 調査研究事業
- (7) 施設(土門拳記念館)管理運営事業

令和4年4月から令和5年3月まで1年間の総入館者数は19,091人で対前年度同期比5,166人増である。

来館者が県外客中心である当館においては、新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受け、ここ数年来館者数は低迷していたが、ようやく回復の兆しが見られた。

コロナ禍前の令和元年度と比較すると、10,347人の減で35.1パーセントの減となっており、これを理由に、酒田市から指定管理料の増額の手当が講じられた。

また、電気使用料金単価の急激な上昇により、光熱水費の支出が対前年度比約1.5倍にもなった。この経費の増額に対応するためにも、指定管理料が増額された。

「土門拳の新しい作品はない。展示の切り口をどうしていくか。」という考えのもと、新たな視点での土門作品の展示、発信に努めた。

#### 1 土門拳作品展示事業

酒田市所蔵品である土門拳作品をテーマ別に構成する企画展示と、土門と他作家の組み合わせなどによる特別展示を実施した。

## (1) 特別展示

- ①展覧会名 「木村伊兵衛と土門拳—『瞬間』と『凝視』の好敵手—」  
「古寺巡礼 Spring Collection」  
会期 4月8日(金)～7月3日(日) 入館者数 6,930人

## (2) 企画展示

- ①展覧会名 「古寺巡礼 Summer Collection」  
「The Hands —土門が撮った手—」  
「遊ぶこども・働くこども」  
会期 7月7日(木)～8月29日(月) 入館者数 3,654人
- ②展覧会名 「酒田市美術館・土門拳記念館共同企画『2つのまなざし 江成常夫と土門拳 —ヒロシマ・ナガサキ—』」  
「第28回酒田市土門拳文化賞受賞作品展 大角 勝『立ち止まる情景』」  
会期 9月3日(土)～10月16日(日) 入館者数 3,061人
- ③展覧会名 「古寺巡礼 Autumn Collection」  
「Japanese Faces —希少プリントでたどる、日本の<sup>なま</sup>貌—」  
「第41回土門拳賞受賞作品展 北島敬三『UNTITLED RECORDS』」  
会期 10月20日(木)～1月15日(日) 入館者数 3,355人
- ④展覧会名 「冬と、酒田と、土門拳」  
「古寺巡礼 Winter Collection」  
「筑豊のこどもたち—Smile—」  
会期 1月20日(金)～4月2日(日) 入館者数 1,947人(3月31日まで)

特別・企画展示入館者数 19,091人 (開館以来の入館者数 2,040,869人)

## 2 写真文化普及啓発事業

第28回酒田市土門拳文化賞の選考委員会を実施し、授賞式と併せて土門拳記念館で受賞作品展を開催したほか、東京、大阪でも受賞作品展を開催した。また、第29回酒田市土門拳文化賞を公募した。

さらに、全酒田写真連盟主催の土門拳杯写真コンテスト入賞作品展の展示を開催した。

期日 6月7日(火)～6月14日(火) 場所 土門拳記念室

## 3 写真作品等保存管理事業

### (1) 原板を含む収蔵品整理保存事業

- ①収蔵庫・各展示室に常時温湿度計を設置し、24時間記録し室温湿度管理に努めた。  
②土門拳写真原板(フィルム、ポジ)劣化対策と保存について、以下のとおり実施した。

- ・ガス検知器による数値測定、原板状態の確認、収納
- ・フィルムの包材交換
- ・危険性が高い原板の経過観察(クリーンブース使用)
- ・500点の密着作成
- ・プリント収納箱へ有毒ガス吸着シート挿入

(2)ソフトウェアを利用した、収蔵作品資料の整理

既存の「T-CATシステム」から新「早稻田システム」へのデータ移行作業を進めた。

4 教育普及事業

(1) ギャラリートークなど展示作品の理解を深める事業の実施

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため人数を制限して実施した。

①第41回土門拳賞受賞 北島敬三氏ギャラリートーク

・期日 10月22日(土) 参加人数 19人 場所 企画展示室Ⅰ

②トークイベント「弟子が語る土門拳」

・期日 6月4日(土) 講師 藤森 武氏 参加人数 33人 場所 主要展示室

・期日 7月30日(土) 講師 堤 勝雄氏 参加人数 26人 場所 主要展示室

③学芸員ギャラリートーク

展覧会名	期日	講師	参加人数	場所
木村伊兵衛と土門拳 —『瞬間』と『凝視』の 好敵手—	4/23(土)	当館学芸員	8人	主要展示室 企画展示室Ⅰ
	5/14(土)	当館学芸員	14人	主要展示室 企画展示室Ⅰ
	6/18(土)	当館学芸員	6人	主要展示室 企画展示室Ⅰ
The Hands —土門が撮った手—	7/9(土)	当館学芸員	11人	企画展示室Ⅰ 企画展示室Ⅱ
	8/20(土)	当館学芸員	4人	企画展示室Ⅰ 企画展示室Ⅱ
2つのまなざし 江成常夫と土門拳 —ヒロシマ・ナガサキ—	9/24(土)	当館学芸員	19人	主要展示室 企画展示室Ⅰ
	10/8(土)	当館学芸員	11人	主要展示室 企画展示室Ⅰ
「古寺巡礼 Autumn Collection」 「Japanese Faces —希少プリントでたどる、 日本の貌—」 「北島敬三『UNTITLED RECORDS』」	11/12(土)	当館学芸員	8人	主要展示室 企画展示室Ⅰ 企画展示室Ⅱ
	12/3(土)	当館学芸員	5人	主要展示室 企画展示室Ⅰ 企画展示室Ⅱ

「冬と、酒田と、土門拳」 「古寺巡礼 Winter Collection」 「筑豊のこどもたち —Smile—」	R5.2/11 (土・祝)	当館学芸員	4人	主要展示室 企画展示室Ⅰ 企画展示室Ⅱ
	3/11(土)	当館学芸員	11人	主要展示室 企画展示室Ⅰ 企画展示室Ⅱ

(2) 外国語資料(8か国語)、建築資料、子供向け資料の配布

(3) 写真に対して興味を広げる親子ワークショップ

【ピンホールカメラ体験教室】

・期日 7月24日(日) 参加人数 親子75人 場所 酒田市総合文化センター

【ピンホールカメラ体験作品パネル展示】

・期日 8月6日(土)～8月18日(木) 場所 土門拳記念館エントランス

(4) 写真展「わたしのこの一枚」の実施

・展示期間 10月29日(土)～11月14日(月) 参加人数 157人 場所 土門拳記念室

(5) 館内映像コーナー及びSNSによる視聴覚教材の活用

(6) ミュージアムコンサート等、建物空間を生かす事業の実施

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため人数を制限して実施した。

① 期日 5月1日(日) 朗読劇「海上神火」 参加人数 28人 場所 主要展示室

② 期日 7月2日(土) さな ぷーら(リュート&リコーダー) 参加人数 50人  
場所 主要展示室

③ 期日 10月2日(日) 被爆ピアノ in 土門拳記念館 参加人数 40人  
場所 主要展示室

④ 期日 10月29日(土) 千田岩城氏 マリンバ 参加人数 35人 場所 主要展示室

⑤ 期日 令和5年2月18日(土) 朗読会「吉野弘の詩をよむ」 参加人数 18人  
場所 企画展示室Ⅱ

(7) 飯森山公園との連携

飯森山公園のあじさい開花の時期に楽之会の協力を得て「あじさい呈茶」を実施した。

・期日 7月3日(日) 参加人数 75人 場所 土門拳記念室

(8) 酒田市文化芸術関連事業への参画

さかたアートアカデミー、ときめく SAKATART 参加

(9) スクールプログラムの実施(酒田市教育委員会主催)

市内の小・中学校を対象とした本事業では、土門拳記念館及び酒田市美術館における鑑賞活動の充実を図ることにより、多様性を認める心豊かな子供たちの育成を目指すものである。

展覧会名	期日	参加校	参加人数
The Hands —土門が撮った手—	7/11(月) 8/25(木)	琢成小学校 西荒瀬小学校	51人



2つのまなざし 江成常夫と土門拳 ーヒロシマ・ナガサキー	9/29(木) 10/4(火)	琢成小学校 第二中学校	97人
「古寺巡礼 Autumn Collection」 「Japanese Faces ー希少プリントでたどる、日 本の貌 <sup>かお</sup> ー」 「北島敬三『UNTITLED RECORDS』」	12/13(火)	西荒瀬小学校	18人

## 5 土門拳記念館 PR 及び広域情報提供事業

- (1) 各媒体による展示情報等 PR 及び観光情報等を提供した。
- (2) 年間入館券購入者へポイントカードを配布し、誘客を図った。
- (3) 土門拳記念館開館記念日の無料開放の実施。入館者にポスターを無料配布した。
- (4) ミニギャラリーの実施

市民への土門拳記念館の周知のため、「土門拳記念館の『これまで』と『これから』」展と題して展示した。

・期間 令和5年3月14日(火)～3月31日(金)

・場所 酒田市役所 フリースペース 東

- (5) お年玉プレゼントの実施

・各日先着 10 名にくじ引きで記念館関連グッズ、ポスターをプレゼントした。

・期間 令和5年1月7日(土)～9日(月・祝)

- (6) ホテル宿泊者優待券の発行及び酒田市広報に記念館入館割引券掲載

- (7) 酒田商工会議所女性会による傘福の展示

## 6 調査研究事業

令和5年度予定「東日本大震災復興祈念 悠久の絆 奈良・東北のみほとけ展」への作品貸出とキュレーションについて調査研究を行った。

日本カメラ財団にて特別展の作品・作家などに関する調査、研究を実施した。

植田正治写真美術館、石元泰博フォトセンター(高知県立美術館)にて写真美術館の課題対応について研修した。山形県博物館連絡協議会研修会、学芸員照明研究会、写真の修理と保存等の研修、オーダーメイド型ゼミのほか、アート・ドキュメンテーション学会オンライン研究会「写真アーカイブの実践と課題2」等に参加した。

また、外国人研究者の調査受け入れを行った。

令和5年2月15日(水)～17日(金) 韓国人研究者(西英大学研究助手)

令和5年2月17日(金)～18日(土) スペイン人研究者(カンタブリア大学教授)

## 7 施設(土門拳記念館)管理運営事業

条例、規則、仕様書等に基づき、土門拳記念館の適切な管理運営を行った。

## II 酒田市美術館公益事業

### 《概要》

公益財団法人さかた文化財団は、酒田市から指定を受けた指定管理者として、酒田市美術館の管理運営を行い、それを通じて、芸術文化の向上に寄与し、市民の生活に喜びを与えることを目的としている。

この目的を達成するための事業は下記のとおりである。

- (1) 展示事業
- (2) 美術品保存管理事業
- (3) 教育普及事業
- (4) 酒田市美術館 PR 及び広域情報提供実施
- (5) 調査研究事業
- (6) 施設(酒田市美術館)管理運営事業

市民の憩いの場として親しまれ、愛される美術館として、令和4年度は県美展を含め6回の特別企画展の実施を中心に上記の各事業を行った。土門拳記念館との共同企画として開催した「2つのまなざし 江成常夫と土門拳ーヒロシマ・ナガサキー展」をはじめ、特にファミリー層を意識した特別企画展「リサとガスパールのおもいで展」と「お菓子の美術館」は両企画とも入館者が8,000人を超えて好評を博した。また、新たな情報発信ツールとしてツイッターを活用し、リアルタイムな情報の発信に努めたほか、エフエムラジオを通して学芸員の生の声を伝えるなど美術館の魅力を伝え、来館者の増に努めた。

更に、令和3年度から取り組んできたスクールプログラム事業では、小中合わせて23校、延べ1,029人の参加があり、教育普及の拡充にも重点を置いて事業に取り組んできた。こうした取り組みの結果、全体的にはコロナ禍の影響はあったものの回復基調が見え、結果、令和4年度の総入館者数は40,836人となった。

### 1 展示事業

展示事業は、収蔵作品による計画的な一般展示と、国内外の優れた美術作品の紹介、及び子どもにも喜ばれる展示を加味した特別展示の二本立てとして実施した。

#### (1) 特別展示

##### ① 展覧会名 「心のかたち 彫刻家・峯田義郎展」

会期 3月19日(土)~4月24日(日) 入館者数 1,824人

山形市出身の彫刻家・峯田義郎の彫刻・絵画作品約 70 点を展示した。本展では初期から現在に至るまでの作品のテーマ展示や、峯田氏が手がけた全国各地の野外彫刻をマップで紹介する展示を試みた。展示会場内では、彫刻作品の撮影許可や彫刻を手で触って鑑賞するコーナーを設けるなど、来館者に親しみを持ってもらえるよう新たな鑑賞方法の提案を行った。また、会期中の関連イベントでは峯田氏と担当学芸員の対談ギャラリーや、作品を撮影しながらアートに親しむツアー、酒田在住の詩人・高瀬靖氏や「酒田詩の朗読会」主宰・阿蘇孝子氏による詩の朗読会を開催し好評を博した。会期に合わせ作品紹介パンフレットを作成し無料配布した。展覧会終了後、彫刻作品 3 点を峯田氏よりご寄贈いただき、うち等身作品 1 点は彫刻回廊にて常設展示している。

## ②展覧会名 「リサとガスパールのおもいで展」

会期 4月29日(金・祝)～7月10日(日) 入館者数 8,922人

フランスで生まれた絵本「リサとガスパール」シリーズの原画約 120 点を展示した。会期中には、毎週木曜日を「こどもの時間」として、会場内に音楽を流して会話を楽しみながら鑑賞できる日を設置し、スクールプログラムの参加児童や、親子が安心して鑑賞できる環境づくりを心掛けた。また、東北では初開催となる「0歳からの親子鑑賞会」を実施した。0歳未満の赤ちゃんから小学校低学年まで参加し、発達段階ごとの子どもの鑑賞の特徴について講師の方からレクチャーを受けた後、展示室で鑑賞した。他にも、リサとガスパールのグリーティングを随時開催し記念撮影イベントで集客を図った。

## ③展覧会名 「平山郁夫～シルクロードと奥の細道展」

会期 7月16日(土)～8月28日(日) 入館者数 4,603人

本展覧会では、第一展示室で平山郁夫がライフワークとして描いたシルクロードの世界を工房が製作した版画によって紹介。第二展示室では松尾芭蕉の「奥の細道」をたどる旅で制作した水彩画を芭蕉の俳句と併せて紹介。第三展示室では、平山郁夫が描いた原爆「ヒロシマ」のスケッチと土門拳の「ヒロシマ」作品を展示し、お互いのヒロシマに対する想いを紹介、好評を博した。

## ④展覧会名 「2つのまなざし 江成常夫と土門拳 ヒロシマ・ナガサキ」

会期 9月3日(土)～10月16日(日) 入館者数 1,859人

本展は財団統合がきっかけとなり企画された土門拳記念館との共同展である。被爆をめぐる写真家の二人展であり、原爆投下から 12 年後のヒロシマで生きる被爆者たちの姿を撮影した土門と、終戦の 40 年後から広島に赴き、長い間被爆者の遺品群を撮影し続けた江成氏の比較展示を試みた。当館では土門のヒ

ロシマと江成氏のナガサキを展示し、写真集に添えられた二人の言葉をキャプションにし、撮影時のエピソードや時代背景などを紹介した。開幕の翌日には佐高信氏ら著名ゲストを招いた記念フォーラム、会期中には担当学芸員によるギャラリートークを開催した。また、相模原市民ギャラリー協力のもと江成氏の過去の講演会の様子を会場で流すなど、来館者がより深く鑑賞できる環境作りに努めた。

⑤展覧会名 「第 77 回県美展酒田巡回展・第 64 回こども県展」

会期 11月9日(水)～11月14日(月) 入館者 1,716名

本展覧会は県内最大の公募展であり、県内芸術家たちの創作発表の場として、地域の芸術文化の振興に大きな役割を果たし、今年度も酒田市では洋画部門で山形新聞賞、彫刻部門で山形放送賞、工芸部門で奨励賞を輩出し、入選・入賞合わせて135点を展示した。また、こども県展は、県内の幼児から中学生までの入選・入賞作品を318点展示した。会期中、子ども連れの家族や幼稚園での団体利用が多かった展覧会だった。

⑥展覧会名 「渡辺おさむ お菓子の美術館」

会期 11月19日(土)～2023年1月22日(日) 入館者数 8,250人

本展覧会では、樹脂などを材料に本物そっくりで作られた“スイーツ”作品を展示した。作品のイメージに合うように、会場の壁面を造作するなど、来館者に楽しんでもらう為の空間作りをした。また、酒田ならではの作品として、酒田の赤ちゃん獅子をデコレーションした《スイーツ獅子頭-blue cream-》、《スイーツ獅子頭-pink cream-》を新作として展示し、会期中獅子頭の愛称の募集を行い、「碧」と「桃」に決まった。その後、作家により本市へ寄贈頂き、当館の新たなコレクションとなった。また、全国の美術館では初めての試みとなる「ぬいぐるみお泊り会」を実施し、お泊り会の様子をTwitterやFacebookで発信して話題となった。その他にも、Twitterで展覧会の感想を募集し、抽選で記念品をプレゼントする企画を実施し、SNSによる展覧会周知に努めた。

(2) 一般展示

収蔵作品の中から、森田茂の「風景」「黒川能」、新田嘉一氏より借用した陶芸作品、及び高橋剛作品などを展示した。

一般・特別展示観覧者数	31,055人	(開館以来の観覧者数 1,285,431人)
市民ギャラリー観覧者数	4,337人	
喫茶利用者数	5,444人	
総入館者数	40,836人	※ 喫茶セット券の販売

## 2 美術品保存管理事業

(1) 収蔵作品について、引き続きその状態調査を行い、美術品管理台帳の整備を進めながら、安全かつ適正な状態で保存するよう努めた。

(2) 収蔵庫・展示室の温湿度管理

収蔵庫・各展示室に常時温湿度計を設置し、24時間記録し室温管理に努めた。

(3) 収蔵品データベースの公開

2019年1月1日に改正された著作権法第47条「美術の著作物等の展示に伴う複製等」に基づき、寄託作品等の一部の例外を除き、著作権の失効の有無にかかわらず、収蔵作品のポジフィルムをデジタルデータに変換し、サムネイル画像を美術館HPで公開し、検索出来るようにした。

令和4年度登録作品：2作品

公開作品合計：248作品（森田茂、國領経郎、斎藤長三、高橋剛作品など）

## 3 教育普及事業

(1) ワークショップの開催

期 日	内 容	講 師	参加人数	場 所
5/8(日)	My おうちバッグを作ろう!	武内治子(学芸主任) 井上瑠菜(学芸員)	30人	ミーティング ルーム
11/20(日)	クリスマスオーナメントを作ろう	渡辺おさむ氏	21人	ミーティング ルーム
R5 1/4(水)	美術館 de ゲーム大会	武内治子(学芸主任) 井上瑠菜(学芸員)	3人	ミーティング ルーム
1/7(土)	My おうちバッグを作ろう!	武内治子(学芸主任) 井上瑠菜(学芸員)	7人	ミーティング ルーム

(2) ギャラリートークの開催

展 覧 会 名	期 日	講 師	参加人数	場 所
心のかたち 彫刻家・峯田義郎展	3/19(土)	峯田義郎氏 当館学芸員	35人	市民ギャラ リー
平山郁夫 ～シルクロードと 奥の細道～展	7/16(土)	幸野昌賢氏 平山郁夫美術館学芸員	50人	各展示室
	7/24(日)	当館学芸員	56人	各展示室
	8/6(土)	当館学芸員	16人	各展示室

	8/7(日)	当館学芸員	22人	各展示室
	8/27(土)	当館学芸員	21人	各展示室
	8/28(日)	当館学芸員	63人	各展示室
2つのまなざし 江成常夫と土門拳 ーヒロシマ・ナガサキー	9/10(土)	当館学芸員	19人	各展示室
	10/15(土)	当館学芸員	4人	各展示室
渡辺おさむ お菓子の美術館	11/19(土)	渡辺おさむ氏	39人	各展示室
	11/27(日)	おしゃべりなアート 鑑賞会当館学芸員	16人	各展示室
	12/4(日)	おしゃべりなアート 鑑賞会当館学芸員	24人	各展示室

(3) ミュージアムコンサート・サイン会・その他

展覧会名	期日	内容	講師	参加人数	場所
心のかたち 彫刻家・峯田義郎展	3/19(土)	開幕式		40人	エントランス
	3/20(日)	アートツアー 自分の“こころ のかたち”発見!	峯田さゆり 氏	20人	展示室内
	4/3(日)	詩人 高瀬靖の 詩を読む 阿蘇孝子さんによる 詩の朗読会	阿蘇孝子氏 高瀬靖氏 佐々木正氏 高瀬克子氏	54人	市民ギャラリー
	4/26(火)	同上のYouTube チャンネル配信		152回 視聴	
リサとガスパールの おもいで展	4/29 (金・祝)	リサとガスパールと 一緒に写真を撮ろう!		35組	エントランス
	4/30(土)			30組	
	5/21(土)	0歳からの親子 鑑賞会 ～はじめまして! びじゅつかん～	富田めぐみ 氏(NPO法人あ かちゃんから のアートフレ ンドシップ協 会代表)	17人	ミーティング ルーム
	5/22(日)			24人	

	6/11(土)	リサとガスパールと一緒に写真を撮ろう!		23組	エントランス
	6/12(日)			30組	
	6/18(土)			26組	
	7/10(日)			31組	
渡辺おさむ お菓子の美術館	11/19(土)	渡辺おさむサイン会		39人	エントランス
	11/26(土)	ぬいぐるみお泊り会(お預かり)		5人	
	12/3(土)	ぬいぐるみお泊り会(お迎え・鑑賞会)		5人	ミーティンググループ
	12/11(日)	ぬいぐるみお泊り会(お預かり)		5人	
	12/17(土)	ぬいぐるみお泊り会(お迎え・鑑賞会)		7人	ミーティンググループ

#### (4) 子ども美術展の開催

酒田飽海造形教育連盟と共催 令和5年2月1日(水)~14日(火) 入館者 1,417人

#### (5) 教職員視察ウィーク

酒田市内の教職員に向けて、美術館や展覧会に対する理解を深めていただくため、「教職員視察ウィーク」を実施した。本事業は、普段の授業での鑑賞学習や、校外学習での美術館利用の参考にしていただき、学校と美術館の情報交換及び連携の推進を目的とし期間中は特別展・常設展ともに観覧料を無料としている。

展覧会名	期 日	参加人数
リサとガスパールのおもいで展	5月9日(月)~15日(日)	30人
2つのまなざし 江成常夫と土門拳 ーヒロシマ・ナガサキー	9月3日(土)~9日(金)	1人

#### (6) スクールプログラムの実施 (酒田市教育委員会主催)

市内の小・中学校を対象とした本事業では、土門拳記念館及び酒田市美術館における鑑賞活動の充実を図ることにより、多様性を認める心豊かな子供たちの育成を目指すものである。本年度は試行期間と定めて開始し、年間1,029名の児童・生徒が参加した。学校によっては、予習、ふりかえりの授業を実施し、その成果を文化祭などで発表し、授業内容の充実を図っている。

展覧会名	期日	参加校	参加人数
リサとガスパールの おもいで展	4/29(金・祝) ～ 7/10(日)	琢成小学校、泉小学校、松山小学校、 黒森小学校、西荒瀬小学校、一條小学 校、浜田小学校、平田小学校、富士見 小学校、松陵小学校、浜中小学校、南 平田小学校、亀ヶ崎小学校	772人
2つのまなざし 江成常夫と土門拳 ーヒロシマ・ナガサキー	9/3(土) ～ 10/16(日)	浜中小学校、第二中学校	53人
渡辺おさむ お菓子の美術館	11/19(土) ～ 1/22(日)	第六中学校、平田小学校、琢成小学校、 十坂小学校、	204人

#### (7) 子どもワークシート作成

美術館での過ごし方や、館内の紹介などをまとめた、館内配布用の子ども向けのワークシートを作成した。スクールプログラム事業や来館者対象に配布し活用している。ワークシートの内容は学芸員が考え、分かりやすく親しみやすいデザインを考慮し、酒田市在住イラストレーターrikko氏にデザインを依頼して作成した。

#### (8) 連携事業

##### ①市との連携事業

「いいいろいろ展」

- ・内 容 酒田市内の障がいのある方が制作した絵画、書道、造形物などを展示するアート展。
- ・日 時 9月22日(木)～29日(木)
- ・会 場 出羽遊心館 料金/入場無料
- ・主 催 酒田市・酒田市教育委員会
- ・共 催 やまがたアートサポートセンターら・ら・ら、社会福祉法人酒田市社会福祉協議会
- ・協 力 中島友彦(アートディレクター)、酒田市美術館
- ・入場者数 716人

##### ②ミライニ(中央図書館)との連携事業

「ときめく SAKATART」(ミライニ主催)

東北芸術工科大学グラフィックデザイン学科教授原高史氏、酒田市美術館、土門拳記念館の学芸員とともに Art によるまちづくりの可能性を探るトークセッションを開催。



- ・日 時 8月28日(日) 14:00~15:30
- ・場 所 ミライニ内中央図書館
- ・対 象 高校生以上
- ・参加者 30人
- ・内 容 Artによるまちづくりについてのトークセッション
- ・講 師 東北芸術工科大学グラフィックデザイン学科教授 原 高史氏  
酒田市美術館学芸主任 武内 治子  
酒田市土門拳記念館学芸員 田中 耕太郎
- ・展覧会関連の図書コーナーを図書館内に設置した。  
(リサとガスパール展、渡辺おさむお菓子の美術館展の会期中開催)

### ③山形県教育委員会(庄内教育事務所)との連携

「令和4年度読育推進ネットワーク整備事業 絵本とアートでお菓子の世界へ！」

- ・日 時 12月10日(土) ①9:30~11:20 ②13:30~15:20
- ・主 催 山形県教育委員会
- ・主 幹 庄内教育事務所
- ・対 象 庄内管内の小学1~4年生の親子20組 ※子ども1名につき大人1名
- ・会 場 酒田市美術館展示室内
- ・参加者 20組(41人)
- ・内 容 酒田市美術館特別展「渡辺おさむお菓子の美術館」の【アート鑑賞】とお菓子に関する絵本の【読み聞かせ】を組み合わせた読み聞かせ会
- ・講 師 酒田市美術館学芸主任 武内 治子  
丸山 恵 氏(遊佐町おはなしユニット「ごっこ」)  
高橋恵子 氏(遊佐町おはなしユニット「ごっこ」)

## (9) 研修事業

①スクールプログラムの研修事業として、小・中学校の教員、教員OB、庄内地区の学芸員を対象とした対話型鑑賞の研修を実施した。

- ・日 時 5月20日(金) 15:30~17:00
- ・対 象 酒田市内の小・中学校教員、教員OB、庄内地区の学芸員
- ・参加者 20人
- ・内 容 対話型鑑賞のための基礎講習会
- ・講 師 富田めぐみ氏(NPO法人赤ちゃんからのアートフレンドシップ協会代表理事)

②一般社団法人地域創造による助成事業を活用し、公立美術館地域展開型研修事業(美術館出前(オーダーメイド)型ゼミ)を実施した。

日 時	対 象	参加者	内 容	講 師
8/17(水) 10:30～17:00	県内の博物館 学芸員及び文化 施設に係る 職員	20人	アフターコロナの集客 方法。集客に効果的なチ ラシのデザインを学ぶ /SNSの活用方法を学ぶ	熊谷淳一氏 (株式会社ノイエ 代表取締役)
10/7(金) 13:00～17:00		26人	コレクションの活用法 /ミュージアムグッズ の可能性	大澤夏美氏 (ミ ュージアムグッ ズ愛好家)

#### 4 酒田市美術館PR及び広域情報提供事業

- (1) 新聞、雑誌、テレビ、ラジオ等へ出来るだけ掲載・放送してもらうよう積極的に依頼活動をした。
- (2) チラシ、ポスターによるPRにあたっては、新型コロナ感染拡大・予防のため、県内を中心に郵送にて配布した。
- (3) YouTubeチャンネルで美術館の外観、イベントの様子などを配信した。
- (4) Twitter を開設し、リアルタイムの情報を発信するように努めた。
- (5) 渡辺おさむ展会期中に、「オリジナルペーパーホルダー」を作成し、ミュージアムグッズ購入者又は年間券購入者に配布した。

#### 5 調査研究事業

収蔵作品、特別展の作品・作家その他に関する調査、研究

- (1) 「心のかたち 彫刻家・峯田義郎展」に向け、彫刻と絵画の峯田作品の調査、全国の野外彫刻設置場所の整理、旧平田町や市と峯田氏とのつながりについて調査した。それらの成果は、会場の各パネルにまとめ発表した。閉幕後、峯田氏より3点寄贈いただいております。今後さらに研究を進め、研究論文執筆予定。展覧会では出品作品紹介のためのパンフレットを制作し、無料配布した。
- (2) 「2つのまなざし 江成常夫と土門拳 —ヒロシマ・ナガサキ—」に向け、江成氏のこれまでの活動を整理し、また、土門拳記念館の関わりについてもまとめ、詳細な年表を作成、会場で公開した。また、江成氏の写真を収蔵する相模原市民ギャラリーを視察し、収蔵状況やこれまでの活動について聞き取り調査を実施した。

#### 6 施設（酒田市美術館）管理運営事業

当館の維持管理業務

### Ⅲ 土門拳記念館・酒田市美術館 交流・協働 促進事業

毎月1回、合同学芸部門会議及び財団経営企画会議を開催し、各事業について情報共有、検討を行った。

#### 1 共同展示事業

##### (1)共同企画展示

「2つのまなざし 江成常夫と土門拳 ―ヒロシマ・ナガサキ―」

酒田市美術館には江成常夫のナガサキ作品と土門拳のヒロシマ作品を、土門拳記念館には江成常夫のヒロシマ作品と土門拳のヒロシマ作品を展示した。

・会 期 9月3日(土)～10月16日(日)

・第1会場 酒田市美術館 「ヒロシマとナガサキ」

・第2会場 土門拳記念館 「ヒロシマ」

##### (2)関連企画 記念フォーラム「江成常夫と土門拳が写した被爆」、「顕彰式典」

・講 師 江成常夫氏(写真家)、司会/石川好(酒田市美術館館長)、

・パネリスト 佐高信氏(評論家)、阿部博行氏(土門拳研究家)、藤森武(写真家・さかた文化財団学芸担当理事)、堤勝雄(写真家・さかた文化財団理事)、村上幸太郎(さかた文化財団理事長)

・参加人数 100人

・場 所 東北公益文科大学 公益ホール

### Ⅳ 土門拳賞及び酒田市土門拳文化賞関連事業

#### 1 「土門拳賞」受賞作品の展示・保存事業

毎日新聞社主催第41回土門拳賞の受賞作品展の実施及び受賞者ギャラリートークを実施した。

第41回土門拳賞受賞者、受賞作品

・北島敬三 「UNTITLED RECORDS」

・収蔵作品 カラー 35点

・展示期間 10月20日(木)～1月15日(日)

・受賞者ギャラリートーク 10月22日(土) 参加人数 19人 場所 企画展示室Ⅰ

#### 2 「土門拳文化賞」募集選考及び受賞作品の展示・保存事業

##### (1) 酒田市土門拳文化賞選考及び受賞作品の展示・収蔵

###### ① 第28回酒田市土門拳文化賞公募及び選考等

・応募者数/点数 106人(35都道府県)/116点(3,052枚)

・選考委員 江成常夫氏、大西みつぐ氏、藤森武氏

・選考委員会 6月3日(金) 場所 出羽遊心館

・授賞式(市主催) 9月4日(日) 場所 土門拳記念館

② 第28回酒田市土門拳文化賞受賞者、受賞作品

酒田市土門拳文化賞 大角 勝 (静岡県静岡市)

「立ち止まる情景」(モノクロ 30枚組)

奨励賞 若林 茂 (静岡県三島市)「母 卒寿」(カラー 30枚組)

井上 宏 (群馬県安中市)「一瞬」(モノクロ 30枚組)

宮崎 豊 (大阪府大阪市)

「なにわ新世界ストーリー・コロナ禍の時代」(モノクロ 30枚組)

③ 第28回受賞作品の展示收藏

・酒田市土門拳文化賞受賞作品 プリント30点 額装展示

・奨励賞 3作品 一部額装及び アルバム展示

・展示期間 9月3日(土)~10月16日(日) 企画展示室Ⅱ、土門拳記念室

・巡回展 東京展 会期 11月15日(火)~11月28日(月) ニコンプラザ東京

大阪展 会期 12月8日(木)~12月21日(水) ニコンプラザ大阪

(2) 第29回酒田市土門拳文化賞作品募集開始

・令和5年度選考及び受賞作品展を予定

### 3 写真文化普及啓発事業

酒田市土門拳文化賞友の会(歴代受賞者の会)と連携し、文化賞に関連する普及啓発及び情報発信を行った。

・第11回酒田市土門拳文化賞交流会

・11月24日(木)東京交流会・12月22日(木)大阪交流会実施

・会報11号発行及び会員活動の情報発信等の協力

### 収益事業 1 作品貸付事業

土門拳の作品を他美術館等の展覧会及び出版社その他へ貸付提供し、收藏作品を広く伝えた。

1 令和4年4月~令和5年3月貸付件数 54件

2 館外での土門拳展(個展以外含む)

① 令和3・4年度市町村立美術館活性化事業 第22回共同巡回展

「土門拳記念館コレクション展『土門拳ー肉眼を超えたレンズー』」

○会期 5月29日(日)~7月10日(日)

・関連講演会 5月29日(日)

「弟子が語る土門拳」講師 学芸担当理事 藤森武

「土門拳、その生涯と仕事」講師 学芸員 田中耕太郎

・場所 長野県安曇野市 安曇野市豊科近代美術館

○会期 7月17日(日)～9月4日(日)

・関連講演会 7月17日(日)

「土門拳、その生涯と仕事」講師 学芸員 田中耕太郎

・場所 福岡県直方市 直方谷尾美術館

○会期 9月10日(土)～10月24日(月)

・関連講演会

9月10日(土)「土門拳、その生涯と仕事」講師 当館学芸員 田中耕太郎

9月11日(日)「弟子が語る土門拳」講師 学芸担当理事 藤森武

・場所 島根県安来市 安来市加納美術館

○会期 10月29日(土)～12月11日(日)

・関連講演会

10月29日(土)

「弟子が語る土門拳」講師 学芸担当理事 藤森武

「土門拳、その生涯と仕事」講師 学芸員 田中耕太郎

・場所 愛媛県八幡浜市 八幡浜市美術館

② 「写真家が捉えた昭和のこども」展

・会期 12月24日(土)～令和5年2月12日(日) 場所 長崎県長崎歴史博物館

・関連講演会

令和5年2月4日(土)

「土門拳の生涯と仕事における“こども写真”の位相」講師 学芸員 田中耕太郎

③ 「土門拳の古寺巡礼」展

・会期 令和5年3月18日(土)～5月14日(日) 場所 東京都写真美術館

④ 土門拳写真集の発刊

令和4年5月 株クレヴィス刊「新版 土門拳の昭和」

4,000部 印税6% 712,800円

令和4年10月 株クレヴィス刊「土門拳のこどもたち」

初版5,000部 印税6% 891,000円

## 収益事業2 資料頒布事業

### 1 サービス提供事業

#### (1) 観光情報の提供

酒田市観光パンフ、他館のチラシ、その他

## (2) 物品販売

### ≪土門拳記念館≫

①土門拳写真集や関連書籍、絵はがき、グッズなどを館内外で販売した。

オリジナルカレンダーの制作、販売

2023年 土門拳写真の旅 「大師のみてら 東寺」 A2サイズ 1,200部

②特別展や土門拳賞受賞作品展の関連写真集、書籍、グッズ等も館内で販売した。

③酒田市ふるさと納税の登録を継続した。

### ≪酒田市美術館≫

①当館オリジナルグッズ（絵葉書、図録、マグカップ、クリアファイル、一筆箋）

②図録、所蔵作品や作者関連の書籍、展示関連グッズ

③地元出版物で、本館で販売可能と思われるもの

## (3) オリジナルグッズの開発

「渡辺おさむ お菓子の美術館」会期中、キーホルダー3種、ポストカード1種を開発、販売した。

## 収益事業3 施設提供(貸館)事業

市内外の美術愛好家（個人・団体）の発表の場、学習の場として、出来るだけ多く市民ギャラリーを開放するよう努めた。

「令和4年度年度市民ギャラリー入館者集計」参照